

2023年度 第6回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 承認日

2023年9月4日(月)

2 開催方法

WEB 会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、常盤委員、東委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、久保田委員、河村委員、柳澤委員

オブザーバー参加:延原情報センター所長、田口学長補佐兼地域産学連携センター所長
(欠席)山崎委員、廣渡委員

4 事務局

福田副局長、高柳調整幹兼総務担当部長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、関根研究・地域産学連携担当部長、山口企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【審議事項】

(1)生成 AI に関する基本方針案について

資料に基づき、東高等教育開発センター長から説明され、文言を一部追加の上、学長名にて発出することで承認された。

○ 不適切な使用が疑われる場合の対応について、「主体的な学びの補助や支援の範囲を超える場合」などが抽象的で伝わりづらいのではないか。具体的に何をしたら不正行為になるのかを記載するのが良い。

⇒ 生成AIを全く使ってはいけないとする科目や、適切に使うこととする科目など、科目によってルールが異なるので一律に決めるのが難しい。科目ごとに生成AIの利用方法・禁止される使い方等を教員から説明いただきたい。

○ それであれば、「個々の教員が指定する禁止された方法」などと表記するのが良いのではないか。

⇒ そのように追記する。

○ これに関連し、「埼玉県立大学試験における不正行為に係る成績処理等に関する細則」を改正した方が良いのではないか。

⇒ 生成AIに関する事項を入れるかどうか、検討する。

○ 年度初めのオリエンテーションや後期授業の開始時に生成AIの利用や禁止事項について、学生に伝える必要があるのではないか。

⇒ 後期授業の開始に当たって、科目担当の教員から学生にきちんと説明するよう、高等教育開発センター長から教員向け周知を行う。

○ 科目によって使い方が異なるので、生成 AI の利用を全て禁止する場合や、積極的に活用する場合など、パターンを分けて伝え方を紹介すると教員は学生に伝えやすいのではないか。

【報告事項】

(1)カリキュラム 2019 アンケート結果について

資料に基づき、東高等教育開発センター長から報告された。

○ 今後、生成AIによって教育方法も大きく変わってくる。カリキュラムの満足度は高くとも、生成AIを上手に使うためにプログラミング教育を入れるなど、大学の強みが増すような教育が必要になってくるのではないか。

○ 4年生には本年度後期に生成AIに関する授業をした方が良いと思うので、検討いただきたい。